

千葉市内で発見された化学弾の無害化処理に関するお知らせ

<平成24年3月1日更新>

千葉市稲毛区の民間研究農場等から発見・回収した旧軍化学弾と考えられる砲弾の無害化処理施設は、平成23年12月に完成しました。この処理施設では、まず、専門家の指導も得たうえで、砲弾を使用した処理を1回行い、処理の安全性や化学剤の処理の徹底性について調査する確認試験を行いました。そして、これに合格したことから平成24年1月31日から無害化処理の対象である176発の化学弾の無害化処理(実処理)に着手し、平成24年2月28日に完了しました。

なお、2月28日の排ガス中の総ヒ素モニタリング結果については、3月1日に判明しましたのでお知らせいたします。

1. 無害化処理施設の確認試験結果について(平成24年1月19日に実施)

| 試験実施日 | 試験に供した砲弾数 (処理発数) | モニタリング結果について | | 備考 |
|-------|---------------------|-------------------------------|---|--------------------|
| | | 化学剤モニタリング (MINICAMSによる監視※) | 排ガス中総ヒ素モニタリング (自主管理値:0.05mg/m ³) | |
| 1月19日 | 2発 | 異常なし | 異常なし | 処理施設の安全性と処理の徹底性を確認 |

※MINICAMSの検出下限値は、硫黄マスタードとルイサイトがいずれも0.0006mg/m³です。

確認試験を実施した結果、処理施設の安全性や化学剤処理の徹底性が確認されましたので、無害化処理施設は本格運転に移行しました。

2. 無害化処理について(平成24年1月31日から2月28日にかけて実施)

| 処理実施日について | | 処理発数について | | モニタリング結果について | | 備考 |
|-----------|------|----------|----------------------|--|---|----------------------------------|
| 処理実施日 | 累計日数 | 処理発数 | 累計処理発数 ^{※1} | 化学剤モニタリング (MINICAMS及び携帯型化学 剤検知器による監視 ^{※2}) | 排ガス中総ヒ素モニタリング (自主管理値:0.05mg/m ³) | |
| 1月31日 | 1 | 1発 | 3発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月1日 | 2 | 6発 | 9発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月2日 | 3 | 6発 | 15発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月3日 | 4 | 4発 | 19発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月6日 | 5 | 8発 | 27発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月7日 | 6 | 4発 | 31発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月8日 | 7 | 10発 | 41発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月9日 | 8 | 8発 | 49発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月10日 | 9 | 10発 | 59発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月13日 | 10 | 10発 | 69発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月14日 | 11 | 10発 | 79発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月15日 | 12 | 10発 | 89発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月16日 | 13 | 10発 | 99発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月17日 | 14 | 10発 | 109発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月20日 | 15 | 10発 | 119発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月21日 | 16 | 10発 | 129発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月22日 | 17 | 10発 | 139発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月23日 | 18 | 10発 | 149発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月24日 | 19 | 10発 | 159発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月27日 | 20 | 10発 | 169発 | 異常なし | 異常なし | |
| 2月28日 | 21 | 7発 | 176発 | 異常なし | 異常なし | 2月28日をもって計176発の化学弾の無害化処理は完了しました。 |

※1:上記処理発数の累計には、1月19日に実施した確認試験で処理した2発が含まれます。

※2:MINICAMSで各サンプリングポイントの連続的な監視を行うとともに、携帯型化学剤検知器で作業工程の連続的な監視を行い、無害化処理中に化学剤の漏えいが発生していないことを確認しました。